

筑波大学附属大塚特別支援学校



学校だより

令和7年度 第11号 (発行:2026年3月13日)

筑波大学附属大塚特別支援学校 校長 小島 道生

2025年度 学校評価アンケートの集計結果について

本年12月8日(月)～19日(金)に実施をしました、2025年度「学校評価アンケート」の集計結果につきまして、ご報告いたします。保護者の皆様からいただいた貴重なご意見を、次年度の学校運営・教育活動にいかしてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

1. 概要

アンケートの回答数: 64件(回答率100%) 内訳(幼稚部4/4、小学部24/24、中学部17/17、高等部19/19)
参考: 24年度84.8% 23年度86.7%、22年度95.8%、21年度87.5%

今回で4年目のアンケート項目を用いて質問しておりますが3点変更を行いました。質問10は感染症対策の内容のため2024年度は項目に入れておりましたが、今年度新たに「いじめ対策」についての項目を設定しました。また、質問13は具体例を()内に記載、質問15は「貢献している」から「発信している」と設問を微修正し()内をさらに具体化したしました。

回答方法はMicrosoft Formsを使用したオンライン回答とさせていただきます。また、皆様にご記名のお願いもしております。項目は設問1と2が基本情報、3～15が記号による回答、16と17が記述による回答となっております。

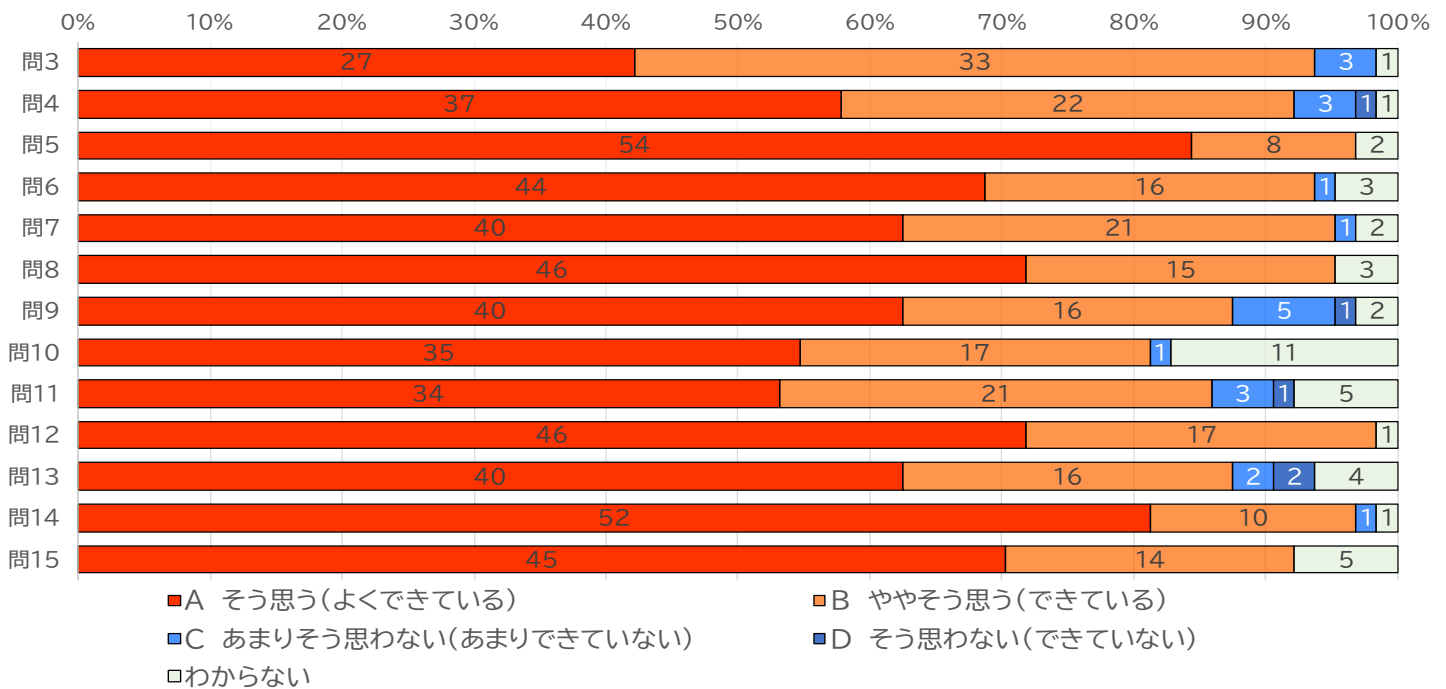
2. アンケートの質問項目

【記号回答の評価の尺度】

A	B	C	D	※
そう思う(よくできている)	ややそう思う(できている)	あまりそう思わない(あまりできていない)	そう思わない(できていない)	わからない

- お子さんの所属学部 幼稚部・小学部・中学部・高等部 (お子さんの所属学部をチェック)
- 回答された方の氏名 (任意)
- 保護者(私)は、学校教育方針・目標、学校運営方針を理解している。 https://www.otsuka-s.tsukuba.ac.jp/page1_12.html
- 学校の様子は、連絡帳、学級だより、学校からのお便り、メール、ホームページなどからの情報でよく分かる。
- 学校へ電話をかけたときや学校訪問した際の、教職員の対応が丁寧である。
- 学級や学部の授業は工夫が見られ、達成すべき目標が分かりやすく設定されている。
- 学級や学部のきまりが守られており(守ろうという促しがあり)、規律が整っている(規律を整えようとしている)。
- 本校の幼児児童生徒は、表情が明るく生き生きと学校生活を送っている。
- 学校行事は、社会情勢を踏まえつつ、学校生活や学習活動の成果を発揮できるよう設定されている。
- 本校では、いじめの未然防止・早期発見・対応に向けた取り組みが適切に行われている。(例: 日常の観察、相談体制の整備、児童生徒への指導、保護者への情報提供、中学部・高等部生徒のスクールカウンセラーとの全員面接 など)
- 学校は施設設備の安全管理や美化清掃を適切に行っている。
- 保護者面談では、個別の教育支援計画や、個別の指導計画の丁寧な説明がなされており、家庭と十分に共通理解が図れている。
- 学校は、進路指導や将来を見据えた指導を計画的に行っている。(例:進路学習会・見学会、現場実習対応 など)
- 学校と教職員は幼児児童生徒の人権を尊重し、適切に接している。
- 本校は、社会貢献を目的とし、教育・研究活動に基づいた情報発信を行っている。(例: 文部科学省指定「研究開発学校」、「えがおカフェ」の地域への開放、地域の老人ホームへのお菓子の提供および交流、国内外からの見学対応・情報提供、講師派遣・教育誌等への執筆)
- 本校の教育活動の中で、特に評価できる点についてお書きください。(記述)
- 本校の教育活動の中で、改善して欲しい点などありましたらお書きください。(記述)

3. アンケート集計 (質問3～15)



4. 記号回答に関して

数値評価についてご報告いたします。今年度の回答率は100%となりました。昨年度は84.8%でしたので、大きく向上いたしました。今回はスクリレによるリマインドの効果があつたようです。皆さま、ご協力ありがとうございました。

設問3～15は選択肢で回答する形式となっており、数年継続することで傾向を確認しております。また、これまでコロナ関連の設問として欠番としていた問10には、今年度からいじめ防止に関する設問を設けました。

設問3～14の回答において、今年度も「A(思う)」および「B(やや思う)」の肯定的評価が80%以上となりました。一方で、尺度のC(あまり思わない)・D(そう思わない)・「わからない」を合わせた割合が15%を超えた項目は、質問10(いじめの未然防止・早期発見・対応)の1項目がありました。また、尺度のC(あまり思わない)・D(そう思わない)・「わからない」を合わせた割合が10%を超えた項目としては、質問9(学校行事)、質問11(施設設備)、質問13(進路や将来を見据えた指導)の3項目でした。

以下、いくつかの項目について確認いたします。

○質問10:本校では、いじめの未然防止・早期発見・対応に向けた取組が適切に行われている。

今年度より新設した質問項目です。本校では、いじめが生じにくく、また関連する行動が発見されやすいという特徴がありますが、教育における今日的課題として、附属学校全校で各校の状況に応じた取組を進めています。

本校では、校内でのいじめ防止対策に関する定期的な校内会議のほか、子供たちへの働きかけとして、学校生活全般の聞き取りやアンケートを実施しています。また、中高生についてはスクールカウンセラーによる全員面談を行いました。その結果、いじめそのものやその兆候は確認されておりません。

面談の実施により、子供たちの学校生活の様子やその気持ちなどを本人の言葉や選択肢による回答からこれまでより理解できるようになっています。

なお、「わからない」が11票あつたことについては、これらの取組や内容について十分にお知らせできていないことを主な要因として、認識しております。今後、教職員間で確認し、保護者の皆さまへの周知の方法も含めて、より適切な対応を検討してまいります。

○質問3:保護者(私)は、学校教育方針・目標、学校運営方針を理解している。

肯定的な回答の割合は高いのですが、他の質問に比べてAが少なく、Bが多いことについて、2月の学校評議員会にて評議員の方からご質問をいただきました。同席された本校元PTA会長からは、「もちろん理解した上で入学しているはずだが、いざ自分自身の理解として問われると、遠慮してしまう方もいるのではないか」というコメントを頂戴しました。なるほどと皆で理解をしつつ、「ぜひ遠慮されずにAをご選択いただけるとよいですね。」とコメントをいただきました。

○質問4:学校の様子は、連絡帳、学級だより、学校からのお便り、メール、ホームページなどからの情報でよく分かる。

こちらはC(あまりそう思わない)が3ポイント、D(そう思わない)が1ポイントありました。

自由記述でもご意見をいただいたように、デジタル連絡帳(スクリレ)への移行に伴い、学校での様子をお伝えする方法が変わったことが、今回いただいたご意見の背景にあると受け止めております。改善の一つとして、ご家庭からの追加の連絡手段としてメールをご使用いただけるようお知らせをしています。また、アプリの仕様に関する使いづらさや改善点については、今後も継続して運営会社へ要望を伝えてまいります。

一方で、学校側では、給食時間に連絡帳を書く必要がなくなったことで、食事や生活面の指導をこれまで以上に丁寧に行えるようになったというメリットも生まれています。また、学校からの連絡については、学習の写真等を添付しやすくなったことで、学習の様子がより分かりやすいとの評価もいただいております。

今後も、学校から家庭への連絡方法について、より分かりやすく、安心していただける形となるよう工夫を重ねてまいります。

○質問11:学校は施設設備の安全管理や美化清掃を適切に行っている。

こちらも記述回答の内容を拝見しますと、施設設備の老朽化・安全面に対するご心配や、校舎やトイレなどの衛生・美化に関するご指摘などをいただいております。

学校環境としては、体育館に念願のエアコンを設置するための作業が現在進んでおります。一方で、複数の教室のエアコンが故障する状況も生じているため、次年度計画的に対応してまいります。トイレなど校内美化についても引き続き対応してまいります。

○質問9:学校行事は、社会情勢を踏まえつつ、学校生活や学習活動の成果を発揮できるよう設定されている。

こちらはC(あまりそう思わない)が5ポイントありました。

行事については、現状でも様々なご意見やご希望があることを改めて認識しています。

今年度の大塚祭では、全校参加型のオープニングや、動画とステージを組み合わせた発表など、多くの皆様から高い評価をいただきました。また、全校集会では、幼稚部から高等部まで一緒に取り組む交流コンテンツを数多く実施し、学部をこえたつながりが広がっています。校外学習や交流行事も増えており、子どもたちが日々の学びの成果を発揮できる場を模索しながら進めています。

今後も、保護者の皆様に参観いただける機会や、子どもたちの活動をお伝えする機会をさらに充実させていきたいと考えております。

このあとに、質問16・質問17の記述回答の要約を掲載しておりますので、その内容をご確認ください。次年度およびその翌年度の計画立案の際の参考にさせていただきます。

5. 記述回答に関して

記述回答の質問16・17について、今年も多くのご意見を頂戴いたしました。本校の教育活動への共感やご賛同、励まし、感謝の言葉に加え、疑問点や改善を求めるとご意見も寄せられています。以下に要約した内容を掲載いたします。

質問16. 本校の教育活動の中で、特に評価できる点

- ①個別最適な指導と特性理解への高い信頼
 - ・生徒一人ひとりの特性・状態を深く理解し、丁寧に寄り添っている
 - ・本人の意思や主体性を尊重した関わりが評価されている
 - ・苦手な部分にも工夫して参加できるよう支援している
- ②少人数制を活かしたきめ細かな対応
 - ・細やかな観察とフォローが行き届いている
 - ・安心して通える環境づくりができています
 - ・クラスとしてのまとまりや居心地の良さが感じられる
- ③授業・教材・活動の工夫
 - ・特性に合わせた教材・活動の工夫が豊富
 - ・体験的な学び(芸術・作業・カフェ等)が充実
 - ・達成感を得られる設定で自己肯定感が育っている
- ④行事・体験・交流活動の充実
 - ・宿泊学習、校外学習、附属校との交流などが好評
 - ・社会性を育む機会が多い
 - ・行事変更時の臨機応変な対応が信頼につながっている

- ⑤専門性の高さと家庭支援
 - ・個別指導計画が適切で専門性が高い
 - ・家庭の悩みに対しても専門的な助言が得られる
 - ・研究的・先進的な取り組みが見える形で伝わっている

質問17. 本校の教育活動の中で、改善して欲しい点など

- ①学校と家庭の連携、情報共有・連絡手段
 - ・スクリーンが使いにくい、仕様が不便（メッセージが上書きされる、編集できない）。
 - ・紙との併用や別ツールの検討を望む
 - ・家庭の様子を伝える手段が減った
 - ・先生方の負担は心配だが、連携の質は維持したい
 - ・個別の様子が伝わりにくくなった
 - ・参観と懇談の日程を分けてほしい
- ②施設・環境整備
 - ・校庭の時計の長年のズレ → 先日対応いたしました。
 - ・トイレの清掃・衛生面
 - ・校舎の老朽化・耐震性への不安
 - ・遊具・緑地など環境の充実
 - ・図書館の蔵書（LLブック等）の拡充
- ③行事・活動の充実
 - ・行事の縮小傾向への残念さ（「成長の機会」としての期待）
 - ・幼～高の縦の交流を増やしてほしい
 - ・高等部でも「学生らしい体験」をもっと
 - ・行事写真のデータ共有を希望
- ④授業・学習面の改善要望
 - ・授業中断時に取り組める課題の用意
 - ・運動・体力づくりの時間を増やしてほしい
 - ・低学年にも宿題を出してほしい
 - ・ICTを使った文字入力・文章作成の授業
 - ・家庭学習への具体的アドバイス
- ⑤進路・卒業後の情報提供
 - ・個別の進路情報・助言をもっと欲しい（「将来の見通し」としての提示）
 - ・地域の就労情報や先輩の進路の共有
 - ・新しい進路の可能性についての研究も期待
- ⑥児童生徒間の関わり
 - ・他児からの影響へのケア、不安のケアや行動改善のフォロー
- ⑦ その他の個別要望
 - ・体操ズボンの選択肢
 - ・教職員の挨拶
 - ・お弁当以外の昼食選択肢（買い物・外食）
 - ・運動習慣の確保
 - ・えがおカフェの運営に関する意見（情報がほしい）

6. まとめ

2月末の学校評議員会にて、本アンケートをご覧いただき、回答結果についてご指導をいただきました。今年は、昨年ご指摘いただいた生徒対象の聞き取りアンケートを実施することもでき、保護者の皆さまだけでなく、学校生活の当事者である子供たちの声を確認することができました。

今後は、学校評価アンケートと連動し、比較できるような形式を検討していきたいと考えています。皆さまの貴重なご意見を今後の教育活動に反映させてまいります。

また、今年度の学校評価の口頭説明は、**次年度の学校運営説明会（4月10日）にてご説明する予定です。**ぜひご参加くださいますようお願いいたします。

